

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原一夫 TEL06-6833-9227
 広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田茂夫 TEL072-850-5781
<http://www6.ocn.ne.jp/~nakabc/omc-news/kaiho.htm>

平成28年4月(2016年)No 604

黒田先生から”退会届” 突然の事で、とまどいも… 今後のご健勝をお祈りいたします

退会届 大阪ムービーサークル会長 合原一夫 様
 都合により平成二十八年三月三十一日を以って
 退会させていただきます。 黒田敏彦

去る3月29日、上記のような退会届がまいりました。突然の事で、とまどいもありましたが、黒田先生にとってよほどのことで決意されたものと理解しております。先生は開業医という多忙なお仕事の傍ら、アマチュア映像を愛し、数々の大作、名作を発表されてこられました。大阪ムービーサークルに入会されたのは、平成16年7月例会からで、その年10月例会で「ネパール・バカラにて」12分の作品を、続いて翌年2月には「魅惑のタイ・アユタヤ編」、平成18年4月「エベレストに魅せられて」18分の作品。以降毎年1作品の超大作を発表してこられ、私たちの眼を楽しませて頂きました。ご入会以来およそ12年の間に14作品を発表されています。なかでも平成21年には「エイジレス人生」が第19回彩の国埼玉全国コンで審査員特別賞を受賞、平成24年には「家族で受け継ぐ無形文化財」が丹波篠山全国コンでグランプリに輝きました。また平成19年8月の例会で「紅蓮の炎」10分の作品で東大寺お水取りを拝見して以来、ずっと東大寺修二会を撮影され、この2月15日大和郡山城ホールでの「東大寺修二会お水取りの全貌」の超大作を発表された事は記憶に新しいところです。何はともあれ、黒田先生には長年の映写会に多大なご支援を賜りましたことも含めて、本当に有難うございました。どうかお体に気をつけて今後のご活躍、ご健勝のほどお祈り申し上げます。

4月例会のお知らせ

- 第2例会：4月21日(第3木曜日)13時より。3月の第2例会をミニ撮影会に充てたので4月に行います。今月は課題コン「野」の公開コンテストを行います。多数の会員の出品を期待しています。時間が余れば一般作品も上映します。
- 通常例会：4月23日(第4土曜)18時より、難波市民学習センター(OCATビル4F)にて開催。暖かくなりました。多くの方のご参加をお待ちしています。

■OMC一泊撮影会・美山かやぶきの里

参加者に若干余裕あり、ぜひご参加を

高瀬世話役のもとで計画をすすめております。3月例会日当日で14名の申込みみがありました。まだ若干名受入れ可能ですので、参加希望者は高瀬世話役まで至急ご連絡ください。(075-841-2310)

■東京アマチュア映像祭全国コン作品募集

上記全国コン全国コンに作品募集の案内書が来ています。10分以内の作品、テーマは自由、出品料2千円。締切り7月10日(必着)、送り先〒272-0021 市川市八幡3-28-19 ユニテプラス2 A-A 鹿島隆雄 宛

■春のセンターまつり初参加は大盛況

3月12日(土)難波市民学習センターで行われた春のセンターまつりには、OMCとして、大阪ゆかりの作品9作品でプログラム構成、定員50名の第1研修室会場に補助椅子を入れるほどの満員盛況でした。センターまつりとしては異例の入場者だったと思います。初めての参加で来年以降へ大変勉強になりました。これからもセンターの企画には積極的に応じたいと思います。

■メルアド訂正のお知らせ

先月号は間違っていたので下記の通り訂正をお願いします。

江藤 洋司 様

誤 yoji_eto@live.com

正 yoji_eto@live.jp

yoji と eto の間に _ アンダーバーが入ります。

3月例会レポート

3月例会は26日18時より難波市民学習センターにて開催。花便りが聞こえる季節となったが、朝夕まだ冷え込む季節だ。今月は1年ぶりに岩井二郎さんの姿があり、何かほっとしました。今月の司会は進藤氏、書

記、高瀬氏、上映担当、坪井、河合両氏、DV記録、江村氏、メモリ記録、井上氏、受付、森口、宮崎両氏の担当で進行しました。なお病気入院中だった森口さんが変わらぬお元気な姿を見せられて安心しました。

◆出席者：赤澤、有村、井上、稲田、岩井、江村、岡本、紙本、河合、合原、柴辻、進藤、関、高瀬、坪井、野田、華岡、前田、宮崎、森口、森下、山本の22氏見学者1名の合計23氏の出席と作品13作品でした。

◆上映作品 (講評：高瀬世話役です)

1. 大蛇が夜空を焦がす (BD)

紙本 勝

13分00秒

毎年1月の第2土曜日に滋賀県守山市の勝部神社で行われる滋賀県を代表する火祭り「勝部の火祭り」を撮影された。タイトルの「大蛇が夜空を焦がす」は、祭りが鎌倉時代、土御門天皇の病がこの地に棲む大蛇が元凶と分かり、退治し火に焼いたところ天皇が全快したことに由来。大松明を大蛇に見立てていることから付けられたものと思われる。朝早く菜の花の殻を用いて直径4m、長さ5~6mの大松明の仕上げをしているところから丹念に撮られている。夜になり3基の太鼓が町内を巡行、やがて12基の大松明に火が点され、燃え盛る炎の前でふんどし姿の若者が乱舞。これらを様々なアングルから撮影、迫力ある作品に仕上げられている。特に炎のアップは圧巻。

2. 廃線紀行 幻の大仏鉄道 (BD)

江村一郎

8分40秒

大仏鉄道は明治31年に開通したが、わずか9年で廃線となり、詳しい資料もなく「幻の大仏鉄道」と呼ばれている。しかし大仏駅

記念公園が整備されたこともあって、最近、人気が高まり、廃線ツアーなどで訪れる人が増えている。始発の JR 加茂駅には当時のランプ小屋が残っている。そこから観音寺橋台、梶ヶ谷隧道、赤橋、最大の難所といわれた黒髪山トンネルなどの遺構を江村さんならではの独特の映像表現で紹介。廃線からかなりの年月が経っており、当時の面影を映像表現するのはなかなか難しいものがあるが、心象的な表現を交え、見応えのある作品とされている。

3. 住吉公園駅最後の日 (BD)

前田茂夫 13分13秒

終電車が出るのは朝の8時台。1月31日、阪堺電鉄、上町線の住吉公園―住吉間が廃止されることに伴い、日本で一番早い終電の駅として知られた住吉公園駅が閉鎖されることになった。鉄道マニアだけでなく、閉鎖を惜しむ大勢の人々が訪れ、狭い駅舎内は人でいっぱい、この様子を俯瞰で描写されていて、混雑する駅の雰囲気をよく

表現されている。ビデオ仲間も数人、撮影に行かれたようで、中の一人はテレビのインタビューを受けておられた。そのテレビニュースも作品に挿入し、この日の模様を余すことなく描かれている。ラストは駅舎を見つめる少年の目に熱いものを感じ、「少年がこの情景を覚えてほしいと願わずにいられない」というナレーションで締めくくられている。まさに作者の思いが凝縮されたような素晴らしいラストである。

4. モスタルとサラエボ (BD)

華岡 汪 12分34秒

ボスニアヘルツェゴビナ共和国は1992年にユーゴスラビア紛争により独立したが、民族紛争は収まらず3年半にわたって全土で戦争が繰り返されると、タイトルに続いてこの国の歴史が語られる。雄大なクラヴィ

ツェの滝、メジェゴリエは世界中から巡礼が集まる小さな町、モスタルは政治と文化の中心地、さらに世界遺産のスタリモスト橋やサラエボ事件の現場となったラテン橋など名所、旧跡などを巡られ、街や橋の名前は一度聞いただけではなかなか頭に入らないが、テンポのよい映像で紹介されている。そしてボスニアの悲しい過去の歴史を見るにつけ、平和な日本がありがたいと思ったというナレーションが作品を印象深いものになっている。

5. 山紫水明 (BD)

有村 博 9分55秒

中国を旅行された時の映像を山紫水明をテーマにまとめられた作品。晩秋から初冬の頃なのでしょうか、黄龍五彩池には雪が残り、神仙池はブルーの水を湛え、黄龍飛瀑流輝、九寨溝樹正群海などには紅葉した樹木が池面に映る。1992年に世界自然遺産に登録され、中国屈指の観光地になっているそうだが、人の姿はなく深山幽谷の風情が表現されている。さらに熊猫(パンダ)海、鏡海、五花海など、趣が異なる池が次々に登場。男神のタッカが女神シキモに風雲宝鏡を贈ったが悪魔のいたずらで女神はその鏡を深山幽谷に落とし砕け散り、114個の青く澄んだ湖になったという伝説も信じられそうなほどの美しさ。全編、BGMが使われ、滝などの現録音が音楽と重なるパターンが同じなのが気になりますが、神秘的な自然の美しさを描かれた見事な作品です。

6. 孫とベルリン散歩 (BD)

山本正夢 9分20秒

ドイツで暮らす生後10カ月のお孫さんケイシ君を伴って家族とベルリンの街を散歩された。戦争で破壊されたまま残るカイザー

ヴィルヘルム記念教会、森鷗外の小説「舞姫」の舞台となったマリエン教会、ベルリン大聖堂やテレビ塔からの街の眺めなど、アングル、構図とも秀逸な映像で見せて行く。そしてクルマで移動しペルガモン博物館やザグセンハウゼン強制収容所跡、ホーエンシェーンハウゼン収容所などを巡り、夜、家に戻り夕食。珍しいベルリンの街の風景を素晴らしい映像で見せてもらった。ただ確かに孫のケイシ君を連れての散歩だが、10カ月のお孫さんと戦争の爪痕などの風景がかみ合わず「孫と…」のタイトルにやや違和感があるように思えます。

7. 大阪狭山市民マラソン (BD)

宮崎紀代子 7分25秒

2月28日に行われた第44回大阪狭山市民マラソン大会を撮影された。間近でスタートするランナーを写され、狭山池の対岸を走るランナーも望遠でとらえられている野球チームのメンバーや親子で参加するランナーなど全編ほのぼのとした雰囲気にあふれている。さらにいろいろな人にマイクを向け、インタビューされている。これが作品の彩りとなっている。ただ走った後のランナーは息苦しいのか、あまり話さないのが残念です。逆にそれが臨場感があっていいのかもしれません。ラストはスロー映像を重ねられ、小さな子供が泣きながら両親と一緒にフニッシュする感動の場面、作品の意図が十分に伝わる映像です。

8. 湯島の白梅 (テレシネ)

岡本至弘 6分0秒

歌謡曲「湯島の白梅」の歌に乗って演じられるドラマ。8ミリフィルムの作品でテレシネされたもの。「昭和58年に小型映画連盟の

主催で行われた撮影会作品」ということである。33年前、当時は盛んにこうしたドラマの撮影会が催された。演じるのは素人だが、撮影する人も演じる方も大いに楽しんだも

のである。この作品は歌に合わせお蔭、主税の男女二人が演じている。歌のセリフに

口を合わせるなど凝っている。アップ、ワイドなど画面サイズを上手く使われ、巧みに編集されている。

9. 大阪光の饗宴バスツアー (BD)

柴辻英一 10分0秒

クリスマスイブの大阪の夜を探訪するバスツアーに参加された。堺を出発した一行は大阪ロイヤルホテルでクリスマス特製の夕食で腹ごしらえ。そしてオープンデッキバスに乗り換え、御堂筋へ。軽快なテンポの映像と語り口で、ツアーに参加しているような気分させられるのはさすがである。天井が開いて見晴らしの良いオープンデッキバスで春夏秋冬、4つのブロックに分かれたイルミネーションの饗宴を満喫。そして中之島公園から中央公会堂のプロジェクトンマッピングへ。続いて訪れたのは図書館。最近、はやりのようにプロジェクトンマッピングがあちこちで行われているが、図書館のそれはこれまでにない素晴らしさ。これをじっくり撮られた神秘的な映像も見応えがあり、魅了されました。

10. 花脊松上げ (BD)

森口吉正 11分00秒

松上げは8月のお盆の頃、京都洛北地区などで行われる精霊送りと五穀豊穰を願う火の祭礼。広河原、久多、美山など数か所であり、花脊もその一つ。花脊は鞍馬からさらに奥へ、バスだと1時間ほどかかる。松上げは20メートルの高さに籠が置かれ

た灯籠木(トロギ)に、火の点いた上げ松を投げ入れる。それらの準備の様子を撮影され、夜が訪れるのを待つ。午後9時、河原に立てられた1000本の地松に火が入ると、辺りは幻想的な世界に包まれ、火の点いた上げ松がくるくる回されながら大籠目指して投げ上げられる。炎の海に火の粉が降り注ぎ、やがてトロギが倒れる。豊年を祝う歌が流れる中、余韻を持って終わる。松上げの行われている場所は川を挟んで対岸にあり、見物席からはやや距離があるため、望遠を駆使して撮影されている。撮影条件の厳しさがみられるシーンもあり、かなり苦労されたのではないかと思われる。

1 1. お水送り (BD)

高瀬辰雄 7分50秒

3月2日に福井県小浜市の神宮寺で行われた行事をまとめた拙作。東大寺のお水取りに使われる御香水(こうずい)を若狭から送ったという伝説を元に始められた行事と地元の案内書にある。神宮寺から2キロ離れた遠敷川(おにゅうがわ)の鵜の瀬まで御香水を運ぶ。3000人の参拝者がそれぞれ松明を持ち、夜の道に行く様は幻想的。鵜の瀬で水師の僧がホラ貝の音とともに御香水を川に注ぐ。できるだけ幻想的な映像を考えたのですが、狭い境内に多くの参拝者や川の淵は暗く松明の火が頼りということもあって思うように撮影できず、機会があれば再挑戦してみたいと思う。

1 2. 咲くやこのはな館え (BD)

赤澤與三郎 2分10秒

「咲くやこの花館」は1990年に開催されたEXPO90「国際花と緑の博覧会」で大阪市のパビリオンとして建設され、現在、当時のテーマでもある「自然と人間の共生」を継承し熱帯から極地までの世界の広い範囲の植物が紹介されている。その「咲くやこの

花館」になかよし会のメンバーと行かれた。何人かのメンバーが花を愛でながら会場を見て回られる様子をスナップ風に撮られているが、映写時間が2分強で短く、世界中の花が見られるという「咲くやこの花館」の雰囲気十分に伝わっているとはいえないように思われます。

1 3. 鬼こそ

進藤信男 9分57秒

「鬼こそ」とは、戦場で太鼓を打ち鳴らし関の声をあげて騒ぐこと、鼓騒(こそう)から訛ったものと、テロップでタイトルの説明があり、トップシーンへ。2月11日に「鬼こそ」が行なわれるのは丹波市山南町の竹林山常勝寺。内陣で、鬼たちが衣装をまとい準備に勤しんでいる。般若心経の読経、大般若経の転読など追儺の法会が進み、赤鬼が松明を手に、緑色の鬼が槍を持って登場、餅きりや火供など珍しい所作を繰り広げる。そしてユーモラスな顔をした4匹の赤鬼、緑鬼が外陣を巡り、参拝者の足元に松明を投げる。これを拾い竈にくべると悪い虫が入らないという言い伝えがあるそうだ。こうした一連の行事をいつもの語りではなく、今回は全編テロップで解説し詳しく描写されている。

facebook・YouTube の利用推進について

関 剛

昨年暮れの世話役会で会員の減少を食い止める方策について話し合った際、今の若者たちはfacebookやYouTubeなどSNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)アクセスがごく普通になっているが、これをOMCの宣伝に活用できないものかと提案したと

ころ、早くも翌日にはIT関連に詳しい井上会員にOMC会員専用と一般公開用のfacebook ウェブサイトを立ち上げて頂きました。

当時OMC会員でfacebook にアカウントを持っているのは私を含めて6人のみでしたが、ウェブサイト立ち上げをきっかけに俄然機運が高まり、次々にアカウントを取得する人が増えて3月末現在で16名になりました。なかでも前田さんがアカウントを取得され、有意義な提案を出していただくことは大きな推進力につながり、たいへん有り難いです。

ただしこれが直ちに会員増加につながるわけではなく皆さんがアップした作品やそこに記載されているコメントを見た人に興味を持ってもらうことが最も重要で、それにはOMC会員が一人でも多く、なおかつ出来るだけ早くfacebook とYouTube に登録してそれぞれのアカウントを取得して頂く必要があります。

登録は簡単です。住所、氏名、電話番号などを所定通りに打ち込み、自分に適したIDとパスワードを作成すれば完了。もちろん無料です。ただしfacebook は本名での登録が必須となります。なお登録手順については第2例会の時間を借りて簡単な講習も考えています。

折しも、かつては例会などで上映作品の主力だったカセットテープの生産が終了し、それにともなってUSBメモリやSDカードなどメディアの変更が不可欠となりました。今年からは例会作品の書記用と保存用の記録はこの二種類のメディアで実施することが決まり、試しに2月例会作品は進藤さんが、3月は井上さんが自前のノートパソコン持ち込んで収録を行っていただきました。

それに関連した事案として3月例会の冒頭で、今月収録した例会作品のアーカイブ化推進と、本格化する前のテストとしてYouTube へアップのすることを提案し、例会出席者全員の同意を得ました。ただし非公開を希望する会員もおられるので、四月度より受付に置いている出席者名簿兼作

品出品表に公開の可否欄を設けてありますので必ず可か否かを○で囲って意思表示を明確にしてください。

当面の推進委員は、井上さん、坪井さん、進藤さん、江村さん、と私ですが、できれば前田さんにも是非お願いしたいと思っています。

OMCホームページは今までどおり前田さんの「ビデオスケッチの中に文字ページがあります。

<http://videosketch.main.jp/toyonaka/omc-news/kaiho.htm>

また坪井さんに新しくOMCのホームページを作って頂きました。ここは動画も掲載予定です。

<http://www.omc-video.com/>

井上さんに作って頂いたYouTube のサイトです。テストとして3月例会の作品がアップされていますが非公開希望の作者の作品は載せていません。

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLKyTFPtsHPVIXZjHXxZ-qVUWuklQHptoY>

いずれにしてもまだテスト段階で、試行錯誤しながら本格化に向けて努力していきませんが、本来の目的は一人でも多く会員を増やすことにあります。忌憚のない建設的なご意見をお聞かせください。皆様のご協力をお願いします。

